



# 「こんにちは 市長です」 2月1日号

コロナが日本に上陸して1年。しっかりと腰を落ち着けてしまった。日本人を救出すべく飛行機を中国に飛ばした。「マスクをしないで。手を洗いなさい。換気を怠りなく」。感染は止まらなくロックダウンもありますよ、といったときは危機感を最高にした。緊急事態宣言をして学校は全国一斉休校。困る子どもたちは児童クラブに行きなさい、これおかしくはない？ とささやかな抵抗をした。いったんは収まったかに見えた。その頃「コロナにかかると高齢者は命の危険がある」と言われ、お年寄りも真面目に外出も控えた。「若者たちは大丈夫」という迷信？はそのまま残った。今、第3波ではコロナ陽性の主流は若者世代、重症者は高齢者と相成った。スマホを使って「Go To トラベルキャンペーン」。ぜいたくなホテルに泊まってお土産ももらっていた。Go To イートでわいわいガヤガヤ、みんなでディナーもあった。アナログ人間の私はというと、テレビに映る彼らをうらやましく思いながら指をくわえて見ていた。有力政治家が旅行業協会の会長さんらしく「コロナ制圧と経済を両立させる」と頑張ったが、それは無理とGo Toは休止した。「冬になればコロナ感染は拡大」という現実に屈したのである。2度目の緊急事態宣言が東京と10府県限定で発せられた。菅総理は「2月7日まではコロナを抑えたい」と国民に向けてコメントした。期待はしているけど神奈川と愛知に挟まれた静岡は飛ばす、飛び地はまずくないのか。太田の夕暮れ時には熊谷、とちぎ（緊急事態宣言県）ナンバーの車が走る。関東、中部、近畿みんなまとめて緊急事態にするのがコロナ抑制の近道みたいな気がする（素人のたわ言？）

「コロナ非常事態」の、のぼり旗を街道に立てた。若者たちが気付いてくれれば、感染予防の原点に戻ってもらえれば、という思いだ。（1/17記）